

第34回上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」一般の部 受賞者一覧

賞名	氏名	歌	県
1席	丸山 かなえ	酒飲むと声の大きくなる父に叱られるごと褒められている	愛媛県
2席	中原 三和子	旅立ちの着物と書いてたとう紙に姑は藍染めしまっていたり	兵庫県
3席	松下 孝裕	サイフォンやドリップのコーヒーはうまいけどインスタントの哀愁がない	兵庫県
4席	森嶋 郁子	網に入る卵を荒湯の湯けむりにひたし湯村の朝につつまる	兵庫県
5席	杉村 芳美	リハビリを終え送られる車窓から落ちる陽を見る 明日もわれあり	兵庫県
入選	清瀬 輝代	彼の日見し和装姿のあき子氏の帯の蛍はどうしているか	兵庫県
入選	南岡 二郎	十三画の愛を解ぐして組み立てておろおろと釘打つ日の来たり	山形県
入選	岡崎 詔子	夫逝きて洗濯籠に夫のものひとつもなくとまどう吾は	奈良県
入選	古家 八千代	父遺す牛舎の隅の毛ブラシは光を添えて蠶螂乗せる	広島県
入選	遠藤 千恵子	ゆきずりの人の幸せ祈りたり白き毛布に眠るみどりご	神奈川県
入選	倉谷 節子	「あっ、せつこさん、あんたおったん、あんしんした」死にそんな声に母より電話	山口県
入選	宮崎 浩	寒スバルつぎつぎと逝く血縁の逝くの漢字に折れたきわが身	兵庫県
入選	芦原 学	冬の夜の湯船がひらく冥界の旅へするりと父はゆきたり	兵庫県
入選	臼井 喜法	保護犬と ^{ひとけ} 人気途絶えた街を歩くお前は月に吠えないのかい	奈良県
入選	川上 善司	渡らずに残った鴨と破れ鯛鳥らつどいて琵琶湖は晩秋	大阪府
入選	市枝 秀子	テレビ台カーテンの影水飲み場キミの痕跡まだたどってる	兵庫県
入選	齋藤 ヒデ子	人間の扁平足に似たるかと撃たれし熊の足うら見つむ	北海道
入選	神田 恵美子	夜なので電話を明日に伸ばしたら明日がなかったお母さんには	群馬県
入選	矢野 一代	^{はちじゅう} 八十歳のこむらに返す櫓の捌き風をからめて濔めぐりゆく	兵庫県
入選	仁田原 陽子	若かりし頃はハートをかいていたオムライスのケチャップ今はぐるぐる	福岡県
佳作	岩崎 正	羚羊がまもなく軌条よぎります御岳のケーブル徐行しすすむ	東京都
佳作	大塚 清子	負け組をなだめる若き保育士の声のり来ぬ初秋の風に	愛知県
佳作	江上 陽菜	いつも雨 部屋の酸素を余らせて儂い夜はいつも雨です	愛知県
佳作	河島 剛	凍る朝さむいさむいと駆けてくるお手玉程の手を包みこむ	兵庫県
佳作	安藤 ふよ	ひと夏に五十日潜り海女たちは出前の寿司で磯じまい祝う	千葉県
佳作	田中 春代	菜園を引きつぐと決め鋤振るふアートのやうに畦たてる娘は	兵庫県
佳作	川端 美智子	四万十の光りさらひて水面打つ鮎の投網の杓きみづ音	兵庫県
佳作	宮崎 要子	景品のちさき土鍋が役立ちぬ汝がために炊く一膳の粥	兵庫県
佳作	五感	もう祖母のいない食卓 瓶底に残ったあんずジャムをこそげ取る	山梨県
佳作	後藤 千明	山門に大きなわらじ携へて仁王は春の旅を夢みむ	兵庫県
佳作	平松 充子	古き枝にぼつんとひとつ柿の実のしずかな終わりを空は見ていた	岡山県
佳作	涌井 ひろみ	はろばろと雲のたましひ受けつぎし小島ゆかりは旅鞆もつ	東京都
佳作	川原 一樹	ご破算で願いましては吊るし柿夕陽照り映ゆ小野の里山	兵庫県
佳作	浅野 伸子	母さんに呼ばれるたびに微笑みて姉になったり叔母になったり	兵庫県
佳作	益田 信行	うさぎ去りちちははも去りゆめは消え廃屋一戸さてもふるさと	兵庫県
佳作	上田 千津子	見えとるよわかるとるよを繰り返す初のオンライン面会の父	広島県
佳作	齋藤 俊輝	九十三のわたしに彼女おまして一日に二度ポスト確む	宮城県
佳作	駒井 阿沙	約束は東福寺への紅葉狩り孤独死告げるグループライン	京都府
佳作	難波 達子	紅葉の中のスナップ今日よりは遺影となりて夫は微笑む	兵庫県
佳作	白井 陽子	「おい、やめろ」叫ぶ女孫はきりん組十七人のうち女子は二人で	和歌山県
佳作	藤本 朋世	若きころの傷痕ならむ手にとりし詩集に朱色の傍線ありぬ	兵庫県
佳作	足立 陽奈	手ぶくろを今日も忘れてしまうのは片方くれる君のせいだよ	兵庫県
佳作	荒川 恵子	托鉢の列中程の若き僧腕のスマホが赤く灯れり	埼玉県
佳作	齋賀 万智	飲み込めぬものは飲み込まなくていい 夕陽に映える君の髪色	兵庫県
佳作	伊藤 智子	君の指がどこに触れても良いように夜更けにそっと踝洗う	千葉県
佳作	辻本 和美	陸橋もコンビニもない町に着く信号待つ間に流れ星二つ	兵庫県
佳作	好井 晶子	折り入って話がありますというような顔で揚羽は右耳に寄る	香川県
佳作	小野 はつね	孫よりもわれのねむたし即興でむかしばなしを聞かせる雨の日	兵庫県
佳作	十河 知幸	エプロンで顔拭き手拭き物運ぶ故郷の母にエプロン贈る	群馬県
佳作	藤林 正則	仔牛十頭乳牛百頭売り払ひがらんだうの畜舎をまはる	北海道